

第4部. 各部署における環境活動目標と達成状況の自己評価

八千代市では環境推進担当者を選任した全部署において、毎年、各業務に関する環境活動目標を設定し、達成に向けた取り組みを実施しています。1年間の各部署での目標及び取り組み、それに対する評価について報告いたします。

○評価基準

A	実施できた	実行率 80 ～ 100 %
B	概ね実施できた	実行率 50 ～ 80 %未満
C	あまり実施できなかった	実行率 20 ～ 50 %未満
D	実施できなかった	実行率 20 %未満
—	判断ができないもの	

総務企画部

所属名	環境目標	目標達成に向けた取り組み	評価
総務課	コピー用紙の使用量削減	◆両面・割付印刷等の積極的な活用。他課へコピー用紙を払い出す際、申請簿に記入してもらい、紙をどれだけ使用しているか意識してもらう。 ◆庁議等の会議は出来るだけパソコンを活用し、ペーパーレスとする。	B
	グリーン購入法適合商品の購入を積極的に行う。	◆消耗品購入時にグリーン購入法適合商品の確認を行い、適合商品を優先して購入する。	A
法務課	今年度より新しく課として成立した為、従来の部内（室）としての意識より一段上げてのエコアクション21活動に取り組む。	◆エコアクションに関する情報を適宜共有し、課内職員の意識の向上に努める。エコアクションに関する情報を適宜共有し、課内職員の意識の向上に努める。	A
	職務上発生する用紙等の使用に関し、無駄を抑えリサイクルすることを努める。	◆職務上必要な資料の紙への印字を極力抑えるようにする（資料のやり取りの電子化、誤字脱字の防止等）。また、不要となった書類等の内、機密性の低いものを裏紙として再利用するなど資源の有効活動に努める。	B
総合企画課	政策の研究、立案、執行及び評価に関する会議において、環境負担の軽減に努める。	◆会議にあたって可能な限り資料等を電子化し、ペーパーレスに努め、ペーパーを使用する場合は白黒コピー及び再生紙の使用に努める。	A
	国際交流の企画及び調整に使用する消耗品は、環境負担の軽減に努める。	◆国際交流の企画及び調整を行うにあたって使用する消耗品は、グリーン購入法適合商品の購入に努める。	B
	各種統計調査に使用する消耗品は、環境負担の軽減に努める。	◆各種統計調査を行うにあたって使用する消耗品は、グリーン購入法適合商品の購入に努める。	A
多文化交流センター	イベント開催において、消費電力の削減に努める。	◆AMIGO 日本語教室等のイベント開催にあたって、口頭やポスターによる節電の周知に努める。	C
コミュニティ推進課	グリーン購入法に適合した商品を選ぶ。	◆市民活動団体支援金交付制度事務・コミュニティ推進事業事務において、必要な消耗品はグリーン購入適合商品か確認し購入する。	A
	紙の消費量を減らす。	◆公募による審議会等市民選考委員会用の資料作成において、担当課に両面印刷で提出してもらうようお願いしたり、ミスコピーはメモとして極力使用するよう努める。	B
	市民活動団体支援金交付団体に市の環境推進について周知する。	◆紙やインターネットによって市の環境推進について周知する。	A
市民活動サポートセンター	市民活動サポートセンター主催事業のサポートセンターまつりでの設備（消耗品類）のリユース化	◆サポートセンターまつり開催（10月）にあたり、設備（看板等）を再利用できるもので準備する。	A
	消耗品はグリーン購入法に適合した商品を選ぶ。	◆市民活動サポートセンターの業務において、必要な消耗品はグリーン購入適合商品か確認し購入する。	B
	市民活動サポートセンター登録団体やホームページ利用者への市の環境推進についての周知	◆市民活動サポートセンター登録団体への連絡や、ホームページにエコアクションについてのお知らせを掲載して、利用者への周知を図ります。	B

所属名	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
秘書課	公用車の使用について、使用用途を把握し、エコドライブを徹底する。	◆公務のための移動にはなるべく公共交通機関を使用する。やむを得ず公用車を使用する際は、効率的にスケジュール管理をしてCO ₂ 排出を削減する。	B
	電気・水道等の効率的な施設管理を徹底するため、照明や暖房の無駄を省く。	◆日中更なる業務の効率化を図り、残業時間を減らして、照明その他の電力使用量を削減する。	C
行財政改革推進課	資料の電子化、印刷部数の低減	◆行財政改革推進本部会議・検討会等（年間10回程度）で資料のペーパーレス化に努め、印刷部数を減らす。	A
	グリーン購入法適合商品の購入に努める。	◆消耗品等を購入する際、グリーン購入法適合商品から選ぶよう心掛ける。	A
広報広聴課	配布部数の適正管理	◆広報やちよ、市民便利帳の在庫数を管理し、適正な印刷部数に調整する。	A
情報管理課	個人で可能なPCの節電対策について、全職員へ呼びかける	◆具体的な節電方法について、7月及び1月にGW掲示板へ掲載する。	A
	消耗品について、可能な限りグリーン購入法適合商品を購入する。	◆消耗品を購入する際、意識してグリーン購入法適合商品を探し購入する。	A
戸籍住民課	廃棄する用紙の量を減らし、不要な紙はリサイクルする。	◆証明書を発行する前や、グループウェアの掲載文書の印刷時に本当に必要かの確認を都度行う。	A
	ゴミの分別を徹底し、不要なもののリサイクルを心がける。	◆缶・ビン・ペットボトルを入れる箱を作成する。捨てる時の注意事項を作成し、ゴミ箱の近くに掲示する。 ◆不要な紙は裏紙として使うよう呼びかける。	B
八千代台支所	支所利用者へ、環境推進を啓発する。	◆利用者へ向けて、節電や節水を意識していただく為に年間を通してポスターの掲示をする。	A
八千代台東南支所	市民への意識啓発	◆市民に向けて、エコアクション21環境方針の掲示や、環境保全に関するチラシ配布により情報提供を行う。	B
勝田台支所	環境保全活動の普及啓発	◆環境関連イベントや節電等のポスターを掲示することにより、地域住民に周知徹底を図る。	A
米本支所	戸籍の届出・各種証明書の交付・税金の受領・書類の預かり等の業務をより効率的に実施する。	◆各種届出時には、職員の連携により事務の効率化を図り、証明書類の申請受付の際は、記載内容の事前確認を確実にすることにより誤印刷を減らす。 ◆可燃ごみとして処分していた紙類の中から資源物としての分別・処理の徹底を図る。グループウェア用のプリンターには個人情報のない裏紙を使用する。	A
	電気・ガス・水道・灯油の使用量を前年度より3%削減を目標とする。	◆前年度より引き続きグリーンカーテンの導入により夏の電気使用量を削減する。夏季は扇風機で空気を攪拌し、効率的な冷房の使用を図る。 ◆節電・節水の徹底を図る。	A
高津支所	証明書の発行ミスを減らす。	◆住民票の請求交付書を受け取る際に、何を記載するかの確認を徹底する。	A
村上支所	支所利用者への環境推進の啓発	◆支所の目立つ場所に節水関連のポスターやエコアクション21環境方針を掲示することで、支所利用者の環境推進意識の向上に努める。	A
	請求用紙の無駄な使用を減らす	◆市民の行動に気を配り、請求用紙の無駄な書き直しをしないよう注意を促す。	A
睦連絡所	資源ごみの削減に努める。	◆消耗品の有効活用とミスコピーの削減に努める。個人情報以外の裏紙を利用する。	B
職員課	時間外勤務の縮減の推進	◆時間外勤務の縮減に関する指針に基づき、ノー残業デーの完全実施を放送等で促す。	A
	新入職員に対する環境教育を継続するとともに、プログラムの充実や対象の拡充を図る。	◆環境教育を含んだ研修プログラムを計画する。	A
庁舎総合整備課	専門委員会事務を行うにあたり、環境に配慮した委員会の開催を進める。	◆専門委員会の人数や規模を考え、開催規模に見合った会議室の選択と適正な資料配布を心がける。	-

財務部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
財政課	グループウェア掲載の文書等については、紙での出力を極力避け、印刷する場合も両面・割付印刷及び裏紙の積極的な活用等により紙の使用量を最小限とする。	◆グループウェア掲載の文書等は、各々のパソコンで確認することとし、紙での出力を避けるよう職員に対して周知を図り、印刷する場合も両面・割付印刷及び裏紙の活用を呼び掛ける。	A
	グリーン購入適合品を選択する。	◆グリーン購入の適合品であることを確認してから購入する。	A
	課内のペットボトル・缶・ビン等については分別を徹底する。	◆ゴミの分別について職員に周知徹底を図るとともに、分別されているか定期的に確認する。	A
契約課	紙の使用枚数の削減	◆会議等でプロジェクターを使用し、配布資料枚数を削減する。また、業務上作成する書類や資料のうち可能なものは、プリンターの印刷設定を両面印刷や割付印刷に設定し、紙の使用枚数を削減する。	A
	再生資源利用計画（実施）書及び再生資源利用促進計画（実施）書の提出	◆対象工事の受注者より工事担当部署の監督員に提出され、工事検査室は各年度の提出されたデータを集計し翌年度の当初に千葉県へ報告する。 ◆提出については、各工事の特記仕様書に記載されており、各工事の完成検査時に工事担当者である監督員に提出されているかどうかを聞き、未提出が無いよう確認している。	A
資産管理課	エコドライブを推進し、燃費効率（1ℓ当たりの走行距離）の向上を図る。	◆職員研修で、エコドライブの推進を図る。 ◆車両の更新の際は、低燃費車の導入に努める。	C
	庁舎内の可燃ごみ排出量を、平成27年度より3パーセント削減する。	◆毎月の可燃ごみ排出量を集計し把握する。 ◆可燃ごみ削減に向けた啓発を行う。	A
納税課	事務用品などを購入する際にはグリーン購入適合品であるのか確認し、優先して購入する。	◆グリーン購入についての理解を所属内で推進する。	A
	事務用品のリサイクルや廃棄物の分別を徹底する。	◆課内で事務用品を効率的に共有し、私物化しない。ペットボトルキャップのリサイクルなど、資源化を促進する。	A
	公用車の効率的な利用、エコドライブを推進する。	◆業務に支障をきたさずに、公用車を効率的に使用できるよう、課内で意見を共有する。乗車時、お互いにエコドライブができているのか確認する。	A
市民税課	グリーン購入適合商品の購入に努める。	◆消耗品の購入にあたり、グリーン購入適合商品を購入するよう課内回覧で周知する。また、グリーン購入適合商品の一覧表を、主な物品購入先であるジョイフル本田のジョイフルカード管理簿ファイルに格納し、どのようなものがグリーン購入適合商品なのかを周知していきたい。	B
資産税課	窓あき封筒発注の際には、窓部分にリサイクル可能な素材グラシンを使用する。	◆4月の市税封筒印刷発注時にグラシン窓で発注する。	A
	事務用品を購入する際には、予算との調整を図りながらなるべく八千代市グリーン購入基本方針に沿ったものを購入するように努める。	◆消耗品を発注する際には、カタログ等でグリーン購入適合商品か否かを確認し、なるべく適合商品を購入する。	B
債権管理課	会議・説明会資料の印刷部数の低減に努める。	◆事前に参加者数や必要な資料を確認し、必要最低限の印刷部数とする。	A
	公用車運転におけるエコドライブを実施する。	◆急発進・急停車をなくし、スムーズな運転を心がける。	A

健康福祉部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
健康福祉課	グリーン購入法適合商品の購入に努める。	◆消耗品等の物資購入の際には表示を確認する等，グリーン購入法適合商品の購入に努める。	B
	自動車の排出ガスの削減に努める。	◆外出の際には，アイドリングストップや急発進・急ブレーキの回避に努める。 ◆また，自動車の燃費を把握し，燃費効率の改善に努める。	B
福祉センター	包装の破損や印字ミス，賞味期限に近づいた等といった理由から，品質には問題がないにもかかわらず廃棄されてしまう食品・食材の活用を行いゴミ減量に努める。	◆上記の食品・食材集め，必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供している団体に定期的に協力する。平成 28 年度は 5 月 16 日～6 月 30 日，9 月 12 日～10 月 31 日，1 月 16 日～2 月 28 日に回収窓口として協力予定。	A
ふれあいプラザ	包装の破損や印字ミス，賞味期限に近づいた等といった理由から，品質には問題が無いにも関わらず，廃棄されてしまいます食品，食材の活用を行いゴミ減量に努める	◆施設内に設置場所を設け，上記の食品，食材を集め，必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供している団体に定期的に協力する。団体からの要請で平成 28 年度は 5 月 16 日～6 月 30 日，9 月 12 日～10 月 31 日，平成 29 年 1 月 16 日～2 月 28 日に回収窓口として協力予定。但し希望があれば，団体と調整した上で年間を通じて協力する体制を整えている。	A
	パッションフルーツを玄関脇に設置することで日陰をつくり，夏場のエネルギー消費の削減に努める。	◆ふれあいプラザ玄関脇に設置しているグリーンカーテンの継続	A
市営霊園	自動車の排出ガスの削減に努める。	◆事務の効率を高めて，自動車の使用回数を極力抑えるようにする。	C
	グリーン購入を徹底する。	◆事務用品の購入は，必ずグリーン購入法適合品とする。	A
	電気使用量の削減に努める。	◆照明，冷暖房の管理を徹底する。	A
生活支援課	温室効果ガス（二酸化炭素等）の排出削減	◆近隣地区への訪問調査・病状調査であれば，公用車ではなく，自転車を利用する	A
	グリーン購入への積極的取り組み	◆消耗品購入の際には，予算の範囲内でグリーン購入適用商品を購入する	A
	リサイクル活動への取り組み	◆紙類（コピーミス，使用済み封筒等），瓶，缶等，積極的に分別する	A
長寿支援課	制度改正によりハートページ，負担限度額申請の内容が変わるため，市民や事業者向けの通知文書の内容を見直し，わかりやすくすることで問い合わせや窓口対応の削減を図る。	◆文書内容を見直し，わかりやすくすることで電話や窓口での対応が減り，事務の効率化が図られる。それにより，残業削減や時間外の電力消費を抑えられる。また，来庁者も減ることにより，二酸化炭素排出量の削減も期待できる。さらにこまめに課内を掃除することで，電子機器の熱効率を上げ，電力消費を抑える。	B
障害者支援課	印刷部数の適正管理	◆前回までの印刷・発行部数から，適正な印刷部数を推定し，廃棄が少なくなるよう図る。	B
	案内文書・通知文書等の簡素化	◆対象者へ送付する文書の記載内容を精査し，極力簡潔にすることにより，理解しやすい文書にするとともに印刷数の削減を図る。	C
八千代市第 1・2・3 福祉作業所	節電，節水の励行に努める。	◆毎月の電気料金・水道料金の前年度比較表を作成し，職員会議の場で資料として提出して周知徹底を行う。	B
	文具や備品など，可能なものはグリーンマーク・エコマークのついている商品を購入する。	◆商品購入の際にグリーンマーク・エコマークがついているもの可能な限り選ぶようにする。（特にトイレトーパーやティッシュペーパーなど）	A
	エコドライブの励行に努める。	◆公用車使用時のアイドリングストップ，速度の遵守を心掛ける。	B
障害者福祉センター	環境保全活動の普及啓発	◆施設利用者に対し，空調温度の適正化や節水等への協力を呼びかける。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
児童発達支援センター	納付書支払の統一(業務効率化)	◆納付書支払の統一を図り、業務時間短縮・業務精度向上を図る(納付書で支払していなかった金銭請求に関して、支払い状況の確認作業が多かったため)	A
	カンファレンス資料の電子化共有(業務効率化)	◆カンファレンスでの情報をパソコン内で共有し、情報を確認できる体制をとる(保育園の申し送り等で情報の確認の際にも役立ち、業務の効率化・時間短縮を図る) ◆コピー用紙削減	A
	自動車の排気ガス削減	◆乗合にて乗車頻度を減らす(社用車使用ファイルの使用) ◆車内エアコン設定温度、使用頻度に注意する	A
健康づくり課	たばこの健康への影響についての周知・啓発	◆保育園や幼稚園での紙芝居の読み聞かせや小中学校への情報提供を行っている。その他、広報やちよ、ホームページ、やちよ健康情報メール、チラシ等を活用し、さまざまな機会を通じて、たばこの健康への影響や禁煙の治療・相談に関する情報を周知する。	A
国保年金課	コピー用紙の削減。(昨年度は職員の意識は高まったが目標を達成することができなかった。意識の継続を行うため今年度も400,000枚以内を目標とする)	◆両面・集約コピーの活用、及びミスコピーの裏面の有効利用等を行い、無駄な用紙を出力しないよう職員一人一人が意識する。	C

子ども部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
子育て支援課	グリーン購入法適合商品の購入に努める。	◆消耗品の購入に際し、グリーン購入法適合商品があるか確認する。	B
	ゴミの分別を徹底し、資源をリサイクルする。	◆紙類の廃棄について、機密文書とリサイクルできる紙類の分別を徹底する。	B
子ども福祉課	グリーン購入法適合商品の購入を徹底する。	◆事務用品を購入する際には、グリーン購入法適合商品があるか確認する。	B
	エコドライブに努める。	◆相談業務等で使用する公用車運転の際、エコドライブに努める。	B
ゆりのき台保育園	施設内の照明器具・冷暖房器具や水資源の節水など無駄のない使用方法に心がける。	◆施設内で、効果的な照明の使用方法・室内の温度設定、無駄な水の使い方に気をつけるよう呼びかけ共通認識のもとで、日々各自が気をつけるようにする。	B
	グリーン購入を普及啓発し、導入を推進します。	◆コピー用紙は、グリーン購入適合商品を購入する。文房具や蛍光灯などもグリーン購入対象商品表と照らし合わせて適合商品の購入に努める。	C
	廃棄される用紙類の減量を図る。	◆コピー、印刷用紙は両面印刷、裏紙使用、縮小機能を利用していく。	A
八千代台保育園	節電・節水に努める。	◆日常的に節電・節水について子ども達に指導し、関心も高めていく。 ◆一年を通し、自然光を生かし、時間帯や天候、園庭に出る際等消灯をこまめに実施する。	A
	印刷枚数の軽減や紙の再利用に心掛ける。	◆印刷済みの用紙の裏面使用(印刷間違えを極力無くす)や封筒や紙類の再利用を心掛ける。	B
米本南保育園	窓に日よけ用のすだれを付けたり、琉球朝顔のグリーンカーテンを実施し室温の上昇を抑える。	◆根ついた琉球朝顔を育てグリーンカーテンとして十分利用できるようにしたり、すだれを活用して室温の上昇を抑えてエアコンの設定温度を抑えられるように心掛けた。	A
	産業廃棄物の削減に努める。	◆可燃、不燃ごみは、それぞれ分別し可能なものは、業者に回収してもらう。ゴミとして捨てるものは、潰しコンパクトにして処分する。	A
	節電、節水を心掛ける。	◆室内の電気は、必要に応じてこまめに消したり、気温に応じて冷暖房機の温度調節もこまめに行い節電に努める。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
八千代台西 保育園	節電・節水に努める。	◆日常的に節電・節水について子ども達に啓蒙し、関心を高めると共に、水道、ガス、電気の使用を把握し無駄を削減するように取り組む。	B
	日よけ、カーテン、すだれや扇風機を利用し、エアコンの適度設定を使用抑制に心がける。	◆エアコンの設定温度に気を付けていく ◆エアコン、ストーブのフィルター等の掃除を定期的に行っていく。	A
	印刷枚数の軽減やインクの節約に努める。	◆使用済み用紙の裏面利用や印刷枚数の確認をし、無駄のないよう気をつけていく。	A
高津南保育園	紙の使用量を減らす。 折り紙の量を減らす。	◆紙は裏紙も使用する。 ◆お絵かきの紙は広告紙の裏や頂いた紙を使用する。 ◆折り紙の使用は作品以外にはなるべく包装紙や広告で作るようにし使用を抑えるようにする。	A
	電気の節電	◆エアコンの温度に気を付ける。	A
	ゴミを減らす。	◆ゴミの量を出来るだけ減らすように職員に周知していく。 ◆ゴミはなるべく小さくすること、牛乳パックは小さく、ヨーグルト容器はつぶすようにする。	A
八千代台南 保育園	エネルギー（水道・ガス・電気）の節約	◆水道：手を洗う時の水量を少なくしたり、出しっぱなしにしないようにする。 ◆電気：使用してない時や日差し・明るさに合わせて電気をこまめに消したり、扇風機やエアコンをつけっぱなしにしない。エアコンは、扇風機と併用する。又、フィルターの掃除をこまめに行う。 ※エアコンはガスエアコン	A
	資源の節約	◆紙などの再利用。ゴミの分別をきちんとし、ごみの減量に努める。	A
	室内の温度上昇を防ぐ工夫	◆朝夕、園庭の水撒きをする。 ◆よしずを使い日差しを抑える。	A
村上北保育園	節電に努める。	◆小まめに電気を消す。 ◆夏場のエアコンの使い方に気を付ける（設定温度や留守時には消す） ◆天気の良い日は窓側の電気を控え、自然光を利用する。 ◆蛍光灯の本数を減らしておく ◆張り紙をし意識付けをする	A
	節水に努める。	◆水道使用時は、必要以上の水量にならないようにする。 ◆水撒きなど、留め水で対応できる場所は利用する。 ◆夏のシャワー、プール、水遊びなどの時も、水を大切に使うよう心掛ける。 ◆手洗い、うがいなど、子ども達にも適切な水量や節水の意識を伝えていく。	A
	グリーンカーテンなどを実施する。	◆アサガオやきゅうりの栽培をし室内に直接光が入らないようにするなど自然環境を取り入れていく。	B
	ガスの節約に努める。	◆夏場のシャワー浴時は、なるべく続けて行い短時間で済ませるようにする。 ◆冬場のファンヒーターの使い方（温度設定や留守時は消す）に、気を付ける。 ◆給食室でも調理の際に心掛ける。	A
	紙、インクなどの節約に努める。	◆印刷物の種類によって白紙と裏紙に使い分ける ◆必要以上に印刷しない。（ファックスは内容を確認してから印刷できるようになるのが望ましい）	A
	環境学習を行う。	◆廃材や空き容器などを利用し子ども達と一緒に手作りおもちゃを作る。	A
	自然体験を行う。	◆散歩などを通して子ども達に自然に触れさせる体験を多く持てるようにする。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
睦北保育園	グリーンカーテンを実施し環境にやさしい省エネに努める。	◆夏の時期、日差しの強いところに琉球朝顔・フウセンカズラを栽培し省エネを図る。	A
	節電・節水に努める。	◆日常的に節電・節水について子ども達に指導し関心を高めていく。一年を通し、自然光を生かし、時間帯や天候、園庭に出る際等消灯をこまめに実施する。	A
	自然体験を行う。	◆野菜の栽培・収穫・植物の生長観察・小動物の世話や散歩などを通して子どもたちに自然に触れさせる体験を多く持てるようにする。	A
子ども支援センター すてっぷ 21 勝田台	リーフレットや資料等の配布部数の適正管理をする。又グリーン購入適合品の選択をする。	◆会議や研修等の資料の節約や電子化を図る。施設のリーフレットや関連資料の節約を図る。	B
	照明や冷暖房器具の管理を徹底し、節約に努める。	◆照明器具、冷暖房器具の点検や清掃をして節約に努める。利用者への節電、節約の周知を徹底する。	B
子ども支援センター すてっぷ 21 大和田	グリーンカーテンを実施し、日よけができるようにしていく。	◆あさがおなどを栽培し、室内に直接、光が入らないように自然環境を取り入れていく。	A
	室内の温度上昇を抑え、エアコンの使用を控える。	◆遮光ネットや節電の意識の向上を図る。	A
	水道、ガス、電気の使用を把握し、無駄を削減するように努める。	◆職員の周知を徹底し、削減を心掛ける。	A
高津児童会館	光熱水費の削減に努める。	◆使用しない電気器具、照明はこまめに切り使用量の削減に努める。 ◆水道の使用を極力控える。	A
村上児童会館			C
米本児童会館			C
子ども福祉課	グリーン購入法適合商品の購入を徹底する。	◆事務用品を購入する際には、グリーン購入法適合商品があるか確認する。	B
	エコドライブに努める。	◆相談業務等で使用する公用車運転の際、エコドライブに努める。	B
母子保健課	問い合わせ等電話対応の軽減	◆予防接種のスケジュール管理等のアプリを導入した。母子健康手帳交付時や家庭訪問の際に案内し、登録してもらえるよう努める。	B

生涯学習部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
生涯学習振興課	市民の環境に対する理解が深まるよう、「まちづくりふれあい講座」の周知を行う。	◆「まちづくりふれあい講座」について、パンフレットを作成、配布し、またホームページに掲載する。	A
総合生涯学習プラザ	省エネルギー型の施設を目指し、事業者に省エネルギーを促進する。	◆維持管理・運営総括責任者を中心に構成された環境対策専門部会において立案した省エネ計画や活動内容をチェックする。	A
八千代台 東南公民館	ゴミの分別や環境保全活動の周知	◆「東南きらめき倶楽部」という講座の中で、総合企画課に八千代市第4次総合計画をもとにした「八千代市の今・これから」という講義を行ってもらい、環境共生都市をめざす八千代市の活動を周知する。	B
大和田公民館	施設利用者に対し、環境負荷の低減に向けた啓発を推進していく。	◆館内に節電・節水等のポスターを掲示し、利用者に環境負荷の低減に対する意識向上を図っていく。	B
阿蘇公民館	主催講座「お話の国～あそランド・夏～」で廃材を利用したオモチャづくりをする。	◆児童を対象に、空き箱やペットボトルのキャップ [®] を利用したオモチャづくりし、環境学習を推進する。	A
	施設利用者に対して環境に関する意識啓発を促す。	◆施設内すべてに「節電」・「節水」のチラシ・ポスターの掲示をする。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
高津公民館	施設利用者に対し環境推進の啓発を図る。	◆省エネ意識の向上を図るため、照明や冷暖房の利用についてエコアクションの周知を図る。	B
勝田台公民館	主催事業として、環境保全意識の向上を図るため、環境体験講座を開催する。	◆まちづくりふれ合い講座の制度を活用して、環境保全課に講師派遣を依頼し、親子環境体験講座として7月下旬に開催をする。	B
八千代台公民館	主催講座で作成するポスターやパンフレットの数を必要最低限にする。	◆パンフレットを配布する学校などにあらかじめ生徒数を確認し、作成するパンフレットを必要最低限におさえる。また、公民館に置くパンフレットは10枚前後と少量にし、少なくなったらその都度、作成・補充するようにする。	A
村上公民館	環境問題推進講座の開催	◆地球温暖化対策などの環境問題に即した主催講座を開催する。	A
	公用車の効率的な活用	◆公用車の活用については、エコドライブと使用頻度の軽減を徹底する。	B
	グリーンカーテンの普及・推進	◆施設の東側と西側に10月まで効果のある「琉球あさがお」のグリーンカーテンを設置。施設での効果を実際に感じてもらい、推進・普及を図る。	A
睦公民館	昨年度に引き続き、公民館利用者に対し、利用する際の環境推進を啓発していく。	◆館内にチラシやポスターを掲出して、日頃からの節電・節水を呼びかけ、利用者の意識向上を図っていく。	B
緑が丘公民館	施設利用者に対して、環境に関して意識啓発を促す。	◆施設内に節電や節水に関するチラシの掲示を行い、利用者に対して環境について意識啓発を促すよう検討する。	A
八千代台東南公共センター	利用者への節電・節水の周知徹底	◆施設内に節電や節水に関するポスターやちらしの掲示を行い、施設利用の際に節電・節水に協力していただくとともに、環境への意識向上を図る。	B
中央図書館	会議、調査等で使用する紙の削減	◆文書の印刷には、両面印刷や縮小等の活用を行い、使用量の削減を図る。一時的な利用のための内部資料については、ミスコピーや使用済み資料の裏面を使用する。	A
	照明や空調などの適切な管理を行い、節減に努める。	◆夏季・冬季の冷暖房を使う時期は使用量が増加傾向にあるため、人が集まるエリア・時間帯等を把握し、施設内の照明器具・冷暖房器具などの無駄のない利用を心がける。	B
	図書館で不要になった本や、市民から提供された寄贈図書で図書館に配架しないものはリサイクルに努める。	◆図書館入口に設置したリサイクル文庫を活用し、利用者への資料の提供を図る。 ◆6月の県民の日に合わせてブックリサイクルフェアを行い、多くの利用者に来場・利用してもらうようポスターなどで周知する。 ◆リサイクル文庫を活用し、利用者への資料の提供を図る。 ◆6月にブックリサイクルフェアを行い、多くの利用者に来場・利用してもらうようポスターなどで周知する。	A
	図書館のコーナーや展示を利用し、エコや節電、環境について利用者に対して情報発信を行う。	◆展示スペースにてコーナー展示や書籍の貸出を行い、利用者に対して情報発信を行う。	B
	エコアクション21に係る環境活動について、従業員に浸透を図る。	◆グリーン購入の推進を行い、環境負荷の低減に取り組む。 ◆紙類について適切な使用枚数の確認や、両面印刷を行い、使用量の削減を行う。 ◆施設維持について、電気・水道・ガスについて、照明や空調などの適切な管理を行い、節減に努める。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
大和田図書館	コピー用紙使用料の削減を図る。	◆両面印刷を利用して、コピー用紙の削減を図る。 ◆再生紙と上質紙の使用用途を使い分け、上質紙の使用を最低限に抑える。	A
	冷暖房の温度調整及び利用者の協力により、使用しない部屋の消灯等、節電を図る。	◆冷房 28℃暖房は 20℃設定にする。また窓を開けて自然風や扇風機を利用する。 ◆パソコンやコピー機を一定時間、利用しない場合は、電源を OFF にする待機状態にする等の工夫を行う。	B
	図書館で不要になった本、市民からの提供本はリサイクルに努める。	◆各図書館でリサイクル文庫を活用して、資料の再利用を図る。	A
八千代台図書館	廃棄物を削減する。	◆破損した資料をすぐには廃棄せずに、できる限り修理して利用する。 ◆図書館で不用と認めた資料を市民に提供する「リサイクル文庫」を設置し、資料が再利用される機会を作る。	A
	図書館施設の照明や冷暖房を適正に管理する。	◆使用していない電気機器の電源を落とす。 冷暖房の温度設定を冷房は 28℃、暖房は 20℃に設定する。	B
	地球温暖化や省エネに対する図書館利用者の意識が向上するように働きかける。	◆環境や省エネなどに関する図書の展示を行う。	A
	イベントに関する資料の配布部数を適正に管理する。	◆イベントの配布資料は両面コピー・縮小コピーを活用して作成する。毎月開催している利用者向けのイベントのチラシを、前月の残部を踏まえて最低限の枚数のみ印刷するようにする。	A
勝田台図書館	図書資料の汚れ・破損等による除籍を削減し、廃棄物全体の削減に努める。	◆年間を通じ、利用提供前に、図書館資料に十分な装備をし、破損を防止する。 ◆年間を通じ、破損の修理方法を工夫し、除籍とする図書館資料を削減する。 ◆年間を通じ、受入をしなかった寄贈資料については、リサイクル文庫を活用し、市民に提供する。	B
	施設内の電気使用量および水道使用量を削減する。	◆夏季および冬季の冷暖房費を削減するため、定期的にフィルタ清掃を行う。 ◆トイレ等の使用場所については、ポスター・貼り紙などで節水や節電を利用者に周知する。	A
	イベントの周知のために、配布するチラシの量を適正管理する。	◆実施するイベントの対象やチラシの配布期間を考慮し、適正な部数のチラシを作成する。 ◆チラシだけでなく、館内ポスター、図書館 HP や広報を活用した周知を行う。	A
緑が丘図書館	環境に関する図書の企画展示を行い、多くの市民に情報を提供することで関心を高める。	◆2階の児童室、3階の一般室でそれぞれ1回以上実施。展示の期間は約1ヶ月間。展示用書架を使用し気軽に手に取って借りることができるように工夫する。	A
	施設内の消費電力を抑え節電を図る。	◆冷暖房の温度設定、不要な電灯の消灯など年間を通して節電を意識した体制の業務を心がける。	B
文化・スポーツ課	書類や電子化されているデータの見直しを行い、二重保存の整理や unnecessary 記録を除外し、業務の効率化とペーパーレス化を図る。	◆職員や業務に関わる者に活動目標の周知を図り、業務の効率化と環境への意識向上を追求する。	B
	公用車の効率的な運用を図る。	◆本庁への移動の際には乗合を推奨する等、使用頻度の削減を図る。	C

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
文化伝承館	施設利用団体に節電・節水等を働きかけることにより、文化伝承館全体の省エネルギーを図る。	◆施設内に節電や節水に関するポスターやちらしの掲示を行い、施設利用の際に節電・節水に協力していただくとともに、環境への意識向上を図る。	B
	公用車の効率的な活用	◆公用車の活用については、エコドライブと使用頻度の軽減を徹底する。	B
市民会館	印刷物について、必要部数を事前に把握することで、用紙の節減を図る。	◆各種会議、実行委員会等での必要部数の事前確認による用紙の節減を図る。また、チラシやポスターも配布枚数等を設定し、用紙の節減を図る。	B
八千代台文化センター			B
勝田台文化センター			B
市民体育館			B
総合グラウンド			B
勝田台中央公園小体育館	ポリッシャーを使用する特殊清掃時に排出される汚水の削減。排出量を上期 50ℓ 以下、下期 50ℓ 以下、年間 100ℓ 以下を維持する。	◆体育室の定期清掃については、掃除機の後にモップを使用した乾拭きのみとし、特殊洗浄は玄関周りの石材タイルのみとする。	A
上高野多目的グラウンド	利用者へのゴミの持ち帰りを徹底する。	◆利用者へゴミの持ち帰りを徹底するよう働きかける。	B
八千代台近隣公園小体育館			B
市民ギャラリー	「省エネルギー事業の推進」 館内の消灯をゾーン別に時間毎に消灯時間を決め、ムダな照明時間を削減。	◆施設を 18 のゾーンに分け、閉館後各ゾーンの清掃終了時間に合わせて消灯時間を決めて、パソコン上にて「EMIT 照明システム」にて管理を実施。	A
	「一般廃棄物の減量とリサイクルの推進」 使用済の牛乳パック・ペットボトル・段ボールを使用して、ワークショップを実施し一般廃棄物の削減を図る。	◆ 8/16：ダンボールでマイハウスづくり、 8/23：ペットボトルでエコ風鈴づくり、 8/25・9/20：牛乳パックでじょうろづくり、 9/3：牛乳パックで竹トンボづくり、 9/30：段ボールで迷路づくり。	A
青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入適合品の選択 ・配布部数の適正管理 ・配布対象者への啓発 	◆成人式の開催に係り、参加者に配布するためのプログラムを作成する。この際、用紙をグリーン購入適合品を選択して購入する。また、プログラムの印刷の際は、配布部数の適正管理に努める。購入及び印刷は 11 月を目途に行う。 ◆プログラムには八千代市の環境保全活動の取組について記載し、送付対象者へ環境保全活動についての啓発を行う。配布は成人式当日（1 月）に行う。	- 年度途中に方針変更があったため
「ガキ大将の森」キャンプ場	利用者への周知徹底	◆キャンプ場の利用者に対し、節水の呼びかけを行う。	A
男女共同参画課	印刷物の見直し	◆やちよ男女共同参画プラン進捗状況報告書の印刷を削減するために、データでの送信について検討する。	C
	やちよ男女共同参画プラン懇話会の開催	◆情報提供や意見交換等をメールで行うことで、エコな会議にできないか検討する。	B
	男女共同参画だよりやちよべあの発行	◆必要部数をその都度把握して印刷することで、用紙の節減をはかる（過剰な在庫を抱えない）。	A
男女共同参画センター	印刷物の見直し	◆主催講座のちらしサイズを縮小する。	A
	利用者へ節電・節水の周知徹底	◆施設内に節電や節水に関するポスターやちらしの掲示を行い、施設利用時における節電・節水への協力と環境への意識向上を図る。	A

安全環境部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
生活安全課	交通安全教育啓発事業において、環境に配慮した広報による啓発に努める。	◆昨年度まで、市内6高校の全1年生対象に「交通安全だより」を印刷して配布していたが、紙の適正使用及び啓発対象を拡大するため、県等から送られてくるチラシ（両面印刷）を1年～3年まで各クラスに2枚ずつ配布し、掲示をしてもらうことで、紙の使用を削減する（実施時期は必要に応じて随時）。	B
消費生活センター	一般家庭で不用になった生活用品情報を市民に提供し、資源の有効活用を図る。	◆広報やちよ・市ホームページ・リサイクル情報コーナーを有効活用し、より多くの市民に周知できるよう啓発の強化に取組む。	B
総合防災課	備蓄食料の廃棄量削減	◆災害に備え備蓄されている食料のうち、賞味期限間近のものについては、防災訓練での使用やフードバンクへ提供することで有効活用を図り、廃棄される食料を減らす。	A
環境保全課	環境学習の参加者を年間延べ1,600人とし、環境保全への意識向上を啓発する。	◆環境政策室主催の「環境学習講座」，「子ども環境教室」，「作品展（グリーンカーテン、谷津・里山）」などの実施。 ◆ほたるの里づくり実行委員会主催の「ほたるの里整備作業（月1回）」「夜の生き物観察会」，「ザリガニ釣り大会」，「作品展」などの実施。	A
	公害防止対策の啓発に努める。	◆市民・事業者に対し、水質汚濁，大気汚染などの公害に関心・意識を持ってもらうため、各種イベントの実施や広報・パンフレットなどの媒体を通じての公害防止対策に関する啓発活動を実施する。	A
	地下水汚染地区における汚染除去対策を実施することにより、地質環境の改善に努める。	◆湧水浄化施設，宙水浄化施設及び活性炭ろ過装置による地下水汚染の浄化対策を継続する。併せて、その効果をモニタリングする。	A
クリーン推進課	市民一人一日あたりのごみ排出量を約761g以下にするよう努める。（八千代市一般廃棄物処理基本計画の予測値）	◆自治会や小学校等からの要望により、ごみ減量学習会や出前講座を随時開催し、3Rの説明，生ごみの水切りや買い物袋の持参などを呼びかけ、昨年度改訂した八千代市一般廃棄物処理基本計画の説明を行う。 また、一般家庭における生ごみ袋の肥化容器等の購入を助成する。 さらに、啓発用ラミネートシートを公用車に貼り、意識の向上を図る。	A
衛生センター	老朽化した設備の補修・更新を行い、適正処理ができるよう努める。	◆設備の故障箇所等を把握し早期の修繕を行う。	A
	薬品類の管理把握を行う。	◆現場での薬品類の点検を行う。 ◆漏洩事故を想定した訓練を行う。	A
清掃センター	平成25年度からの継続目標として、平成28年度まで清掃センター基幹的設備の改修工事を行い、施設の老朽化対策と改修後のCO ₂ の3%削減を目標とする。	◆今年度については、前年度の2号炉改修に引き続き、3号炉の基幹的設備の改修工事を行う。	A
	不燃ごみや粗大ごみから発生する、廃棄物の再資源化を行う。	◆搬入された廃棄物を、手選別による分解をすることで、再資源化を行う。	A

都市整備部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
都市計画課	公共交通の利用促進が図られるようイベント等の啓発活動を行う。	◆公共交通の利用促進が図られる企画を検討し実施する。	B
	消費電力の削減を図るため、時間外勤務の削減に努める取組みを行う。	◆業務の効率的な事務分担が図られるよう、班内で定例的な打合せを行い、情報の共有化を行う。	A
建築指導課	延べ面積 300 ㎡以上の建築物を新築等する際、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づく届け出が必要になる。届け出された建築物が、「住宅の省エネルギー基準」を満たすよう指導、助言をします。	◆「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づく届け出がされたら、その省エネ計画が、「住宅の省エネルギー基準」を満たしているかどうか内容を審査する。省エネ計画が基準を満たしていないようなら、エネルギーの効率化に利用するための措置を指導、助言し、基準を満たすように努めてもらう。年間を通して、届けが出されるので、逐一取り組みます。	A
都市整備課	土地区画整理事業によって設けなければならない公園面積は、3%以上とされている。西八千代北部地区においては、4.7%を確保しており、また、環境アセスの千葉県知事の意見を踏まえ、地区内の緑化に努める。	◆今後も公園面積の維持・環境アセスの遵守に努めていきたい。	A
公園緑地課	日常管理やアダプト団体への支援による自然保護意識の向上、生物多様性の保護を図る。	◆年間を通じて公園の景観の維持、アダプト活動に必要な用具の提供を行う。	A
	市民が緑豊かな街と感じられるよう、緑化協定の推進や都市公園面積の増加を図る。	◆開発等の事業者に対して、開発行為等の協議や建築物等の新築及び建替え時における確認があった際に協力を求めていく。	A
土木管理課	アイドリングストップ等のエコドライブを心掛ける。	◆アイドリングストップ等のエコドライブを心掛ける。実施時期は年間を通して行う。	A
	昨年度に引き続きグリーン購入の比率を増やしていく。	◆昨年度に引き続きグリーン購入の比率を増やしていく。実施時期は年間を通して意識し行っていく。	A
土木建設課	土木工事発注の際、再生品を使用する。	◆工事の設計書に再生品を使用するよう明記する。	A
	工事機械は低公害のものを使用する。	◆低公害の機械を使用して施行するように工事の設計を行う。	A
	雨水を地下に浸透させ雨水流出量の抑制、地下水の涵養に努める。	◆建物の新築・増改築の際、雨水浸透桝等の設置について協力を依頼する。また、市道の歩道新設・補修の際、浸透舗装の採用に努める。	A
土木維持課	紙使用量の削減。	◆見積、設計書等を業者とやり取りする場合電子データを活用するようにする。	A
	市営自転車駐車場の電気、水道量の使用量の削減に努める。	◆自転車駐車場の管理人等に、電気、水道の使用量を削減するよう指導する。	B

産業活力部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
産業政策課	所管するイベントにおけるごみの減量を図る。	◆ゴミの減量について、主催団体に働きかける。	B
	発行する八千代市産業のしおりの配布部数を適正に管理する。	◆公共施設に配布する八千代市産業のしおりについては必要最低限の部数とし、データをホームページに掲載することで、印刷の量を減らす。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
農政課	園芸用廃プラスチック処理対策推進事業について、農家の方に周知し、適切な処理をすることを促す。	◆八千代市農協と協力し、事業の実施及び適切な処理について広く周知させる。実施予定時期：１０月，２月	A
	畜産農家の方に家畜の糞尿処理について周知を徹底し、適切な処理をすることを促す。	◆千葉農業事務所等の関係機関と協力し、適切な処理を広く周知及び指導をする。	A
	農業交流センター・ふるさとステーションの光熱水費等の節減に取り組む。	◆農業交流センター・ふるさとステーションの職員に光熱水費の節減に努めてもらう。	B
農業交流センター	グリーン購入適合商品の購入。廃棄物の減量に努める。	◆消耗品等の購入に際してはグリーン購入適合商品を積極的に購入し、試しコピーを行い併せて裏紙利用により紙の節約を図る。 ◆チラシや申込書類等は内部印刷により、必要な部数を印刷することで紙の無駄を無くす。 ◆チラシ類はできるだけ内部印刷によることとし、必要な部数を印刷することで紙の無駄を無くす。	B
ふるさとステーション	ＬＥＤ照明取替工事	◆現状の照明器具をＬＥＤ照明に取替ことにより、電力量の節約を図る。	A
商工課	商店会等が行う商業活性化イベントに伴うごみの排出抑制を主催者に働きかける。	◆商店会等が行う商業活性化イベントに伴うごみの排出抑制について、補助金交付決定時に主催者をお願いをする。	A

会計課・委員会事務局等

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
会計課	支出伝票に添付する資料を明確化し、不必要な添付資料を減らす。また、両面印刷を推進し紙の使用量の削減に努める。	◆グループウェアの掲示板や電子書庫等を活用し、支出伝票に必要な書類を例示する。 ◆添付資料は両面印刷を推進する。不要な資料は担当課に都度返却し周知をはかる。	B
	八千代市グリーン購入基本方針に基づき、消耗品の購入を行い、対象品目でのグリーン購入商品率90%以上にする。	◆年間を通じ、消耗品購入の際はカタログやインターネット等で事前にグリーン購入法適合品かどうかを確認し、購入する。	B
議会事務局	事務局内及び会派内でのペットボトル・缶・ビン等の分別を徹底し、キャップや乾電池は回収してリサイクルをする。	◆ゴミの分別について議員及び職員に周知徹底を図るとともに、分別がなされているかチェックを行うようにする。	B
	グループウェアの掲示板の文書については、紙への出力を避けることで、印刷文書の削減を図る。	◆文書は各々のパソコンで確認することとし、紙に出力しないよう職員に対して周知を図る。	A
	グリーン購入適合品を選択する。	◆購入前にグリーン購入の適合品であることを確認する。	A
選挙管理委員会事務局	選挙に係る説明会等を行う際の印刷部数を低減させる。	◆これまで選挙時には紙資源を用いた資料提供をしてきたが、今後は印刷部数低減のために、グループウェアを用いて電子化したデータでの情報共有を図ることで印刷部数を低減させる。	A
	公用車の使用頻度を減らす。	◆選挙時において公用車を使用する際には、単一の業務での公用車使用を控え、極力複数の事務をこなすようにすることで、公用車の使用頻度を今よりも減らす。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
監査委員事務局	グリーン購入適合商品の購入	◆消耗品の購入においては、グリーン購入適合商品を選択するよう徹底する。	A
農業委員会事務局	農地転用許可制度の適正な運用により、農地の優良性や周辺の土地利用状況等により農地を区分し、農業上の利用に支障の少ない農地等へ誘導する等優良農地の確保に努める。	◆農地法及び千葉県の提示する農地転用関係事務指針に基づき、適正に審査を行う。	A

教育委員会

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
教育総務課	電力使用量前年度比 0.5%減	◆冷暖房、給湯器等の使用方法的再検討	A
郷土博物館	八千代市の自然環境についての理解を深めるため、環境に関連した事業を行う。	◆植物標本作り講座、自然観察会や昆虫観察会を開催する。	A
大和田小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆第3学年では1学期にホテルの住める環境を考える活動を通して水質保全や、人と自然との共存に関する理解を深める。	B
		◆第4学年では2学期に印旛沼や新川の水質保全を考える活動を通して、人と自然との共存に関する理解を深める。	A
睦小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆子どもサミットの活動を通し、近隣中学校と連携して環境教育に取り組む。 ◆地域清掃を行い、児童が環境について考える機会を設ける。 ◆各教科の学習の中で環境についての知識・理解を深める。	B
阿蘇小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆5月、9月、12月にPTAや地域の方々の協力を得ながら古紙やアルミ缶等の資源回収を行う。 ◆4月に田植え、9月に稲刈りなどPTAや地域の方々の協力を得ながら「コメ作り体験活動」を実施する。 ◆年間を通して「募キャップ」活動を行う ◆6月に地域の協力を得ながら「里山体験活動」を実施する。	A
八千代台小学校	電気代の節約	◆教室を使用しないときは、必ず電気を消す。休み時間、掃除の時間は電気を消す。(晴れの日)	B
	ごみの量を減らす。	◆紙類のごみは、極力資源ごみに出す。 ◆職員の印刷物は、裏紙を使用する。 ◆社会科や総合的な学習の時間に、3Rについて学習し、実践する。	B
八千代台東小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討と、小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆子どもたちが保護者会のリサイクル活動とタイアップしてのリサイクル回収を行う中で環境について考えさせる機会を設ける。	B
		◆社会科や総合等の授業の中で環境についての知識を深めさせる。	B
		◆小中連携で環境教育に取り組む。	B
八千代台西小学校	環境教育、環境学習の視点を取り入れた授業づくりの推進	◆生活科、社会科の研究を通して、単元計画や活用の授業の中に環境教育の視点を取り入れた授業実践の工夫をしていく。	B
	環境教育、環境学習の視点を取り入れた日常的な実践活動への意欲付けと取組の推進	◆児童会活動や、地域子どもサミットの一環として、高学年児童を中心にリサイクル運動や地域の清掃活動に取り組む。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
勝田台小学校	学校施設から出るごみの総量を減少する。特に学級から排出される紙ごみをリサイクルに回すなどの工夫をする。また、落ち葉は腐葉土を作るための材料として再利用する。	<p>◆年間を通して教室から出されるごみに職員全員が関心をもち、教師と子どもがごみ減量に向けた取り組みを実践する。</p> <p>◆街路樹や敷地内の樹木の落ち葉で、銀杏を除く広葉樹については、腐葉土を作る場所を確保して、全校体制で取り組む。</p>	B
勝田台南小学校	児童会が全校児童に「節電」「節水」を呼びかけ、自作のポスターを作り、校内に掲示したり、総合的な学習の一環として「環境」をテーマにした単元を学習する。近隣小・中学校と協力して環境整備活動を地域社会と連携して実践する。	<p>◆児童会に働きかけ、環境活動のために何ができるのか積極的に働きかける。</p> <p>◆地域社会や近隣学校と情報交換しながら環境整備、環境保護のための活動を地域社会とともに計画する。</p>	B
米本小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討、小中学校での環境教育の実施を検討します。	<p>◆地域清掃等を行う中で、児童に環境について考えさせる機会を設ける。</p> <p>◆グリーンカーテンを設置し、環境についての意識を高め学習に活かす。</p>	A
米本南小学校	各教科における環境学習・環境教育の工夫 各教科において、環境に関する内容を検討・工夫する。	<p>◆昨年度同様、第4学年においてゴミについての学習を行い、ゴミの軽量化などについて考え、学校、家庭で実践できるようにする。</p> <p>◆昨年度はうまくできなかった「緑のカーテン」に再挑戦し、環境効果について検証・理解する。</p>	B
大和田南小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	<p>◆年間を通して</p> <p>(1) 廃棄物・リサイクルに関する活動</p> <p>①常時回収箱を設置し、アルミ缶、ペットボトルキャップ、牛乳パック、テトラパックを回収します。</p> <p>②生活科や社会科、総合的な学習の時間等において、資源の大切さ、環境を守る大切さを学習するとともに、廃棄物処理及び環境サイクルを踏まえた自然保護や社会生活の実現に向け、体験学習を取り入れた学習を実施します。</p> <p>(2) 地球環境問題に関する活動</p> <p>①節電・節水など省エネ活動に努めます。</p>	A
高津小学校	環境学習、環境教育の新しい取組の検討	◆社会科や理科総合的な学習の時間で、3Rの実施に取り組む。また、植物を育てることにより自然環境の保護に気づかせていく。	B
	学校施設から出るごみの減少に取り組む。大量に配布される紙資源をリユースし、リサイクルに回していく。2段階経ることにより総量の減少に努める。また、水資源確保のため、節水に取り組む。	<p>◆年間を通して、教室から出されるごみを資源へと変える意識を職員に持たせる。教師が取り組むことにより、児童に環境の大切さを伝えていく。</p> <p>◆手洗い場等での節水の意識を高める。</p>	B
南高津小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆学習指導要領に基づき、本校教育課程の中で環境教育をどのように実施していくか検討する。	B
西高津小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	<p>◆年間を通して</p> <p>(1) 廃棄物・リサイクルに関する活動</p> <p>①常時回収箱を設置し、アルミ缶、ペットボトルキャップ、牛乳パックを回収する。</p> <p>②7月に地域のクリーン作戦(学区内美化活動)を実施する。</p> <p>③牛乳パックやペットボトル、アルミ缶、トレーなどの廃材を使って工作を行い、資源の大切さ、環境を守る大切さを学習するとともに、身近な生活の中で実践できるリサイクル活動を推進する。</p> <p>(2) 地球環境問題に関する活動</p> <p>①節電・節水など省エネ活動に努める。</p>	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
村上小学校	環境学習・環境教育の充実（総合的な学習の時間を他教科と横断的に連携して実施）	◆子どもたちがPTAのリサイクル活動とタイアップしてのリサイクル回収を行う中で環境について考えさせる機会を設ける。 ◆社会科や総合的な学習の時間等の授業の中で環境についての知識を深めさせる。	B
村上東小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施の検討	◆まが玉池周辺を「まが玉の里」と称し、「なかよし広場」とともに整備、管理を充実させ、子どもたちの感性を育む教育環境を推進します	B
大和田西小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境学習の実施を検討します。	◆社会科や総合的な学習の時間において、廃棄物処理にかかわる社会参画の在り方、環境サイクルを考えた自然保護や社会生活の実現に向けた考え方について、知識の習得や体験型の学習を実施します。	B
村上北小学校	校内での環境活動(節電・節水・紙のリサイクル等)の啓蒙を図る。	◆打合せにおいて、環境活動に対する職員の意識向上を図る。 ◆児童会主催による児童集会や環境委員会を通して、児童全体の意識向上を図る。	B
新木戸小学校	節電、節水等適正な使用に努める。	◆こまめに消灯、教室など使用しない場合は電気のスイッチを切る。 ◆水泳学習は、近隣学年を同一日に実施し、プールへの注水や排水の回数を減らす。 ◆ごみは分別し、資源ごみと、廃棄ゴミに分け、リサイクルに努める。 ◆薬品等は鍵のかかる薬品庫に格納し、使用した薬品は、使用記録ノートに記入する。	B
萱田小学校	環境学習、環境教育の新しい機会の検討 小学校での環境教育の実施を検討します。	◆ 児童会を中心とした節電節水を、年間を通して呼びかける。 ◆「総合的な学習の時間」において、環境について児童が調べ、考えることで環境に対する態度を養う。	A
萱田南小学校	環境教育の実施	◆4年生社会「ごみのしやりと利用」の学習（9～10月） ◆5年生社会「環境を守るわたしたち」の学習（2～3月） ◆たすけあい委員会によるリサイクル活動の実施と広報（通年）	A
みどりが丘小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 ● 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆子どもたちが保護者会のリサイクル活動とタイアップしてのリサイクル回収を行う中で環境について考えさせる機会を設ける。 ◆社会科や総合等の授業の中で環境についての知識を深めさせる。	A
八千代中学校	配布部数の適正管理	◆資料や文書は必要部数だけ印刷し、予備は印刷しない。 ◆職員への配布資料はできるだけ裏紙を使う。	B
睦中学校	環境学習、環境教育の新しい機会を検討。	◆授業の中で環境についての知識を深めさせる。 ◆ペットボトルキャップの回収や地域清掃等を行う中で生徒たちに環境について考えさせる。	A
阿蘇中学校	子どもサミットの活動を全校に周知し、近隣小学校とも協力して、環境について考える機会をふやす。また、省エネやゴミ拾い等の活動も実施する。	◆それぞれの教科において、環境について学習を行う際に、「自分たちに何ができるか」を考えさせることで、身近な問題としてとらえさせ、活動につなげていく。 ◆福祉活動として、「クリーン&あいさつ運動」を実施する。 ◆「募キャップ活動」を通して、全校生徒に環境について関心を持ってもらい、考えさせる機会を設ける。 ◆東京成徳大学、八千代東高校などとも連携し、大学祭において「環境」をテーマとしたブースを設け、地域の方がたにも関心を持ってもらう。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
勝田台中学校	環境をテーマにした活動を推進する。	◆八千代子どもサミットの学校活動の一環として、環境をテーマにした活動を実施する。	B
大和田中学校	生徒と共に環境について考え、行動に移す。	◆子どもサミットで検討し、決定した地区目標に従い、ボトルキャップの回収活動を行う。	A
高津中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆子どもサミットと連携した地域のゴミ拾いや、学校内の美化活動を通して環境について考えさせる機会を設ける。 ◆理科や社会、技術・家庭科等の授業を通して環境に関する知識・理解を深める。	A
八千代台西中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 ●小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆日々の清掃活動を行う中で生徒たちに環境について考えさせる機会を設ける。 ◆授業の中で環境についての知識を深め、各自の考えをまとめたり、話し合い環境問題への関心を高める。	A
村上東中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討	◆生徒会活動を中心にPTAの協力も得て、年間を通して、ペットボトルキャップ、テトラパック、資源ゴミの回収を行い、生徒集会や学活で回収の意義について話し合ったり、回収量の報告を通して、環境に対する意識の高揚を図る。	A
東高津中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します。	◆清掃やボランティア活動を通して、生徒たちに美化を含めた環境について考えさせる機会を設ける。 ◆社会科や技術家庭科を核として、授業の中で環境についての知識を深めさせる。	B
	学校内での光熱費、生活水費、紙用紙費、及び使用量の縮減に全校レベルで努める。	◆掲示や放送等の啓発活動を推進し、縮減の意識化を図る。 ◆ミス文書や支障のない文書は、リサイクルに回す。	B
村上中学校	生徒会を中心に全生徒で節電、節水を心掛け、昨年度よりも電力量、使用水量を低くおさえる。 小学校や地域の団体と連携し、落葉掃き、ゴミ拾いなど、村上地区の地域環境の改善に取り組む。	◆生徒会を中心に校内の節電、節水の呼びかけを行う。村上地区の地域環境についてアンケートを実施し、中学生として取り組める内容を明確にし、自治会や地域の関係機関と連携を図っていく。	B
萱田中学校	環境学習・環境学習の新しい機会の検討 *小中学校での環境教育の実施の検討	◆地域美化活動を通して、地域の方々の環境についての取り組みを学び、環境について考える機会とする。	B
学務課	市内各小・中学校における光熱水費の削減に努めるよう働きかける	◆市内小・中学校の管理を所管する教育総務課と連携して、校長会議や教頭会議等において光熱水費の削減を積極的に働きかけるとともに、残業時間縮減を働きかける。	A
少年自然の家	少年自然の家利用者に対して、節電及び節水の協力を呼びかける。	◆施設を利用される際に、利用者に対し、口頭あるいは掲示物等で節電・節水を呼び掛けると共に、不要な電気が点灯していないか等を職員が小まめに巡回し、確認するよう心掛ける。	B
	給食や野外炊事等で排出されるゴミの減量。	◆施設利用者に対してゴミの分別を呼び掛け、リサイクル容器の利用等を促すことにより、ゴミ排出量の削減に努める。また、給食の提供に伴う調理の残渣や残飯を減らせるように、献立てを工夫したり、食べ残しを減らせるよう呼びかけを行う。	B
指導課	小中学校の環境教育の充実を図る。	◆各学校の環境教育への取組を把握し、各学校の状況に応じた実践を奨励していく。 (ビオトープの活用 環境美化教育 里山体験活動など)	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
教育センター	電気使用量削減に努める。	◆昼休み時間、教育センター内の室内灯を消灯する。（通年で取り組む）	A
	紙の使用量削減に努める。	◆両面印刷を心がけ、支障のない文書については、裏紙を活用する。プレビューの活用により、ミスプリントをできるだけ少なくする。（通年で）取り組む）	A
青少年センター	公用車使用の際は、効率よく走行し、エコドライブを心がける。	◆パトロールコースを事前に作成し、エコドライブを心がける。	A
適応支援センター フレンド 八千代	使用していない場所の電気をこまめに消す。	◆通所児童生徒に各室退出時の消灯を呼びかけ、職員が消灯を確認する。	A
	紙類の資源物の再利用を心がける。	◆ミスプリントや支障のない文書については裏面を再活用する。	B
保健体育課	単独給食校の食品残さ・給食残菜を発酵分解による堆肥化・肥料化を図ります。	◆食品系リサイクル事業会社へ食品残さ・給食残菜を発酵分解による堆肥化・肥料化を委託する	A
給食センター 西八千代 調理場	学校給食残菜等リサイクルの推進	◆学校給食の残菜等として排出される一般廃棄物について、食品系リサイクル事業者と契約し堆肥化を実施して、リサイクルを推進する。	A
	食育の推進（地産地消の推進）	◆学校給食に八千代市産の食材を使用し、地産地消の推進を行う。 ◆年間を通して八千代市産のコシヒカリを使用すること。 ◆6月は「ちばエコ農産物」の認定を受けたエコにんじんを使用すること。 ◆八千代市産の梨、キウイフルーツ、長ねぎを使用すること。	B
	食育の推進（施設見学、試食会等の実施）	◆市民見学、試食会を実施する。 ◆栄養教諭、学校栄養職員による訪問授業を実施する。 ◆市内の高校生、外国人が講師となり、児童生徒向けに調理講習会「Yacchi's Kitchen for Kids」を行う。	A
給食センター 村上調理場	学校給食残菜等リサイクルの推進	◆学校給食の残菜等として排出される一般廃棄物について、食品系リサイクル事業者と契約し堆肥化を実施して、リサイクルを推進する。	A
	食育の推進（地産地消の推進）	◆学校給食に八千代市産の食材を使用し、地産地消の推進を行う。 ◆年間を通して八千代市産のコシヒカリを使用すること。 ◆6月は「ちばエコ農産物」の認定を受けたエコにんじんを使用すること。 ◆八千代市産の梨、キウイフルーツ、長ねぎを使用すること。	B
	食育の推進（訪問授業の実施）	◆栄養教諭、学校栄養職員による訪問授業を実施する。	A

消防本部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
消防総務課	缶・ペットボトルの回収をし、リサイクルすることで、ゴミの削減とCO ₂ の削減に努め、職員のリサイクルに対する意識を高める。	◆自動販売機業者と協議し、缶・ペットボトルの丸ごと回収方法により、回収率を増加させる。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
中央消防署	火災の被害を軽減させるため、市内小学校の4年生を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を体験させ、火災の拡大を防ぐことによりCO ₂ を削減する。	◆市内小学校に防火体験の実施希望調査を行い、年度内に全小学校4年生が体験できるよう調整を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに消火器で火を消す体験をさせる。尚、平成27年度は市内22校の小学校を対象に合計1,793名の児童が防火体験に参加した。今年度も同様に実施し、火災の被害を軽減しCO ₂ を削減する。	A
	災害出動による医療廃棄物の処理・管理につとめ医療廃棄物の排出抑制と処理の適正化により、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。	◆特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し、医療廃棄物の処理・保管基準を遵守する。	A
東消防署	火災の被害を軽減させるため、市内全小学校の4年生を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を習得させ、火災の拡大を防ぐことによりCO ₂ を削減する。	◆市内全小学生に実施希望を調査し、年度内に全小学校の4年生が体験できるように便宜を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに、消火器で火を消す体験を実施する。	A
八千代台分署	火災の被害を軽減させるため、市内の小学4年生を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を習得させ、火災の拡大を防ぐことによりCO ₂ を削減する。	◆市内全小学生に防火体験の実施希望調査をし、年度内に小学4年生が体験できるように調整を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに消火器で火を消す体験をさせる。	A
	八千代台分署壁面・屋上にプランター等による緑化を行う。	◆八千代台分署壁面・屋上の緑化は建物の断熱性を高め、省エネルギー効果も期待できる。	B
睦分署	電気及び、ガス使用量の削減。	◆睦分署南側、事務室のカーテン等を使用し、日差しを調整してエアコン使用時の電気使用量削減に努めます。	B
勝田台分署	火災の被害を軽減させるために、市内小学校4年生の全児童を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を習得させ、大きな火災になる事を防ぐことによりCO ₂ を削減する。	◆市内小学校4年生の全児童に防火体験の実施希望調査をし、年度内に防火体験ができるように調整を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに、水消火器を使用し火を消す疑似体験を実施させる。	A
予防課	市内危険物施設における危険物漏えい事故防止。	◆危険物施設を保有する事業所に対して危険物安全週間等を利用し、講習会などを開催して日ごろの定期点検及び日常点検等の必要性について周知徹底を図る。また、危険物施設に立入検査等を実施し、適正管理について指導するなど、危険物事故防止を図ることで環境汚染の軽減につながる。	A
警防課	救命講習、広報紙、市のホームページ等による広報活動により、市民への救急車の適正利用を呼びかけ、不要不急の救急車の利用を減らすことにより、CO ₂ 及び感染性廃棄物の削減を図る。	◆毎月実施予定の救命講習、市のホームページ等で救急車の適正利用を呼びかける。	C
指令課	平成19年度から高機能消防指令センターの導入により、災害現場に一番近い車両が自動的に選択されるシステムの運用により、災害現場の直近車両が出動する事で時間短縮と燃料の節約になり、CO ₂ 排出の減少を図る。	◆高機能消防指令センター設備の正常な機能を維持するために、保守業者による年1回の点検整備を依頼し、指令システムの円滑な運用を図る。	A

上下水道局

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
経営企画課	低公害車（ハイブリッドカー）の有効活用	◆事業管理者用の低公害車について、上下水道局内の他課や本庁への貸し出しを行い、有効活用を図る。	A
給排水相談課	下水道整備の推進	◆水洗化の啓発及び促進を行い、下水道整備区域内の未接続世帯への早期着工を促し、適切な排水設備の執行を促すことにより、環境への負荷軽減を図る。	A
	自動車排出ガスの削減	◆エコドライブを心がけ、また走行距離が少なく済む経路を選択して現場に向かうなどして、排出ガスの削減を図る。	A
	ごみの削減	◆ミスをしたコピー用紙などの古紙など、再使用可能な備品を再利用し、ごみの削減を図る。	A
上水道課	水道管の耐震化率の促進	◆災害時に漏水及び破損の恐れがある水道管を耐震性に優れた管へ整備・促進を図る。	A
	管の布設後 30～40 年を経過し、老朽化、経年劣化等に伴う給水管・配水管の漏水対策修繕が毎年多数発生していることから、迅速な修理を行い有収率・有効率の向上を図る。	◆修繕の依頼先である事業者との連携を図り、早急に漏水を修繕する。	A
	児童、生徒を対象とし、水資源に関する知識の提供と節水を呼び掛けていく。	◆近隣小学校と連携し、浄水場見学の開催等の啓発活動を行う。	A
下水道課	電気・水道・ガス等の施設管理	◆汚水中継ポンプ場にある機械設備の点検及び補修を行うことで、運転に必要な水道の使用量を抑える。	A
村上給水場	浄水場施設の維持管理に努める。	◆老朽化した設備の補修・更新を行う。	A